## 2019年(平成31年) 1月1日(火曜日)

## 主要AV各社の19年事業戦略



システム企業として幅広 進化に合わせて開発が准 4対3、16対9、16対10 生じ、画面も正方形から タル映像を映す新需要が 16㎜映画投射から、デジ スライド、OHP、8mm ェクタを発売しスクリー 年シャープが液晶プロジ 表示装置を核に総合AV が社名をオーエスに変え 創業者の奥村昭之助社長 更。事業拡大を目指して ン市場変革期を迎えた。 く事業展開している。 た。現在は映像と音響の ススクリーンに社名を変 スタート。67年にオーエ 私は89年に入社。この 年企業を ]指すスタ

3年に奥村商会として創 65周年を迎えた。 195 の製造・販売・施工から 立。映画館のスクリーン オーエスは18年に創業 社長

## チをカタチに」基本に

が、優れたスクリーンを 製造するにはプロジェク マ社の製品を扱っている 置、LED表示装置も手 プロジェクタはオプト に社業にまい進する。 モチをカタチに」を基本 目指すスタート年。「キ 19年は100年企業を

業務管理の部門を持ちワ 販売、製品開発、生産、 シーにしており「キモチ 届けすることを基本ポリ ないものを作り出してお てニーズをつかみ、世に が、お客さまの声を聞い れる体制が整っている。 みも強化し、映像と音響 らに商業施設への取り組 シアター市場に参入。さ ロジェクタ登場でホーム 掛けの3種の神器の納 OHPスクリーン、地図 館のスクリーンから、70 スプレイ、サイネージ装 にもプロジェクタ、ディ 体制を整えている。 ンストップで応えられる を掲げる。設計・施工、 をカタチに」できる企業 に関するご要望に応えら テムと拡大してきた。プ 人。企業向け視聴覚シス 育向けテレビハンガー、 年代に始まった視聴覚教 現在はスクリーンの他 オーエスは製造企業だ オーエスの事業は映画 売モール「アウンノオン OS」を開発し発売する フランチャイズ展開をし 始めた。将来は海外にも ミー」も記念事業として 実習・実験を通じて習得 ために、電子回路製作・ るスーパーキッズ育成の と考えている。 ただける仕組みにしたい 地方創生にも活用してい していく。このモールは ライン」を構築して販売 た製品を、オンライン販 口」を開発して発売した。 S2」を実現した「WF プ 対応」「防炎仕様」「RoH 製品を開発していく。 本のマーケットに向けた Pプロジェクタ「LU Χ ていく計画。 ・KidsKeyアカデ できる「ものづくりDr ト製作を一貫した流れで て、コモディティー化し ことになった。今後も日 プログラミング・ロボッ 幅広い技術に対応でき 65周年の記念事業とし スクリーンでは「4K

タを知らなければならな

